1　消防職員　【消防局】

1　消防職員の配置状況

（令和６年４月１日現在）

階級別		合計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他
合計		682	1	6	31	131	130	164	1	214	4
局	消防局長	1	1								
	消防局次長	2		2							
	総務課	15			1	4	7	3			
	財務課	12			1	3	3	4			1
	予防課	13			2	1	2	5		2	1
	警防課	15		1		6	5	2		1	
	指揮指令課	58			12	20	13	6	1	6	
	救急課	24			1	9	5	8		1	
	小計	140	1	3	17	43	35	28	1	10	2
中央	中央消防署	73		1	1	14	16	19		22	
	本郷分署	37			1	5	7	8		16	
	小計	110		1	2	19	23	27		38	
東	東消防署	57		1	1	11	11	16		16	1
	古和釜分署	40			1	6	7	10		16	
	薬円台出張所	13				4	2	2		5	
	小計	110		1	2	21	20	28		37	1
北	北消防署	46		1	2	10	9	6		17	1
	三咲分署	43			1	6	4	13		19	
	小室出張所	21				4	3	6		8	
	小計	110		1	3	20	16	25		44	1
夏見	夏見消防署	47			2	9	6	12		18	
	行田分署	39			1	3	7	12		16	
	小計	86			3	12	13	24		34	
芝山	芝山消防署	51			2	7	9	11		22	
	前原分署	37			1	3	9	10		14	
	三山分署	38			1	6	5	11		15	
	小計	126			4	16	23	32		51	
市長部局への出向者		3				1		2			

※市長部局への出向者については合計欄に計上せず。

※合計 682 人のうち 13 人は再任用職員（フルタイム）。

2　車両の配置状況及び経過年数（消防局・署所）

※上の数字は車両台数、その下の数字は経過年数を表す。　（令和６年４月１日現在）

	合計	指令車	指揮車	ポンプ車	非常用ポンプ車	水槽車	非常用水槽車	はしご車	救助工作車	化学車	小型動力ポンプ付水槽車	空気充填車	支援車	排煙高発泡車	救急車	非常用救急車	総務車	管理車	査察車	調査車	警防車	人員輸送車	資機材搬送車	連絡車	重機搬送車（重機含む）
合計	93	5	3	10	2	11	3	6	3	2	1	2	1	1	17	6	2	1	4	1	2	4	4	1	1
総務課	2																2 16 11								
財務課	1																	1 10							
予防課	2																		2 16 6						
警防課	4																				2 10 16	1 16	1 5		
指揮指令課	4		3 1 17 17																	1 19					
救急課	4														1 0	1 7						1 16		1 16	
中央消防署	13	1 0		1 0			1 14	1 2	1 1	1 10		1 15	1 13		2 5 1	1 8						1 17	1 20		
本郷分署	4			1 3		1 4		1 19							1 0										
東消防署	11	1 9			1 12	1 12	1 16	1 13	1 12						2 5 0	2 6 10			1 14						
古和釜分署	5			1 5		1 5						1 11			1 5										1 11
薬円台出張所	1					1 2																			
北消防署	11	1 9		1 6	1 10	1 5	1 14								1 3	2 7 8			1 12			1 14	1 14		
三咲分署	3					1 11			1 8						1 4										
小室出張所	4			1 6		1 0		1 9							1 4										
夏見消防署	6	1 13		1 7		1 7		1 14							2 2 2										
行田分署	5			1 0		1 1					1 11			1 16	1 1										
芝山消防署	5	1 8		1 7		1 6									2 3 2										
前原分署	5			1 4				1 6		1 3					1 1								1 11		
三山分署	3			1 4		1 8									1 6										

2 消防施設 【消防局】

1 施設及び車両

区分			現有数
施設	消防局・消防署・分署・出張所・救急ステーション・消防訓練センター		16
主要車両	指揮車		3
	ポンプ車		26 （うち非常用 5）
	化学車		2
	はしご車		6
	救助工作車		3
	特殊車両	小型動力ポンプ付水槽車	1
		空気充填車	2
		排煙高発泡車	1
		支援車	1
		重機搬送車（重機を含む）	1
	救急車		23 （うち非常用 6）

2 消防水利の状況

（令和６年４月１日現在）

消防署の区分	消火栓			防火水槽					その他の水利									
	公設		小計	公設		私設		小計	プール	工業用水	河川・溝等	濠・池等	海・湖	井戸	下水道	その他	小計	合計
	単口	双口		40㎥	100㎥	40㎥	100㎥											
中央	1,302	161	1,463	58	7	170	2	237	17	25	2	1	0	0	9	59	113	1,813
東	1,021	95	1,116	75	10	55	0	140	18	1	0	0	0	0	0	0	19	1,275
北	1,647	198	1,845	210	13	113	0	336	27	0	0	3	0	0	0	30	60	2,241
夏見	969	118	1,087	72	4	100	5	181	14	0	0	0	0	0	0	8	22	1,290
芝山	1,019	79	1,098	84	3	71	0	158	17	0	0	0	0	0	0	12	29	1,285
合計	5,958	651	6,609	499	37	509	7	1,052	93	26	2	4	0	0	9	109	243	7,904

※上記水利は消防水利の基準第３条（消防水利の給水能力）を満たしているものをいう。

3　消防団　【消防局】

消防団は、永い歴史と伝統に培われ、常備消防とともに地域における消防防災の中核として重要な役割を果たしている。

本市消防団は、市民の安全を確保するため「自分たちの街は自分たちで守る。」という郷土愛護の精神に基づき、現在１団 20 分団 59 ヶ班で防火防災の任にあたっている。

また、地域の実情に即した消防団の組織を強化するとともに、平成７年から採用した女性消防団員と男性消防団員が協力し、町会・自治会等の消防訓練や各種イベントに積極的に参加し、地域に密着した活動を行っている。

1　消防団員の実員数および機械台数

○班数　59

○消防団員の実員数　583

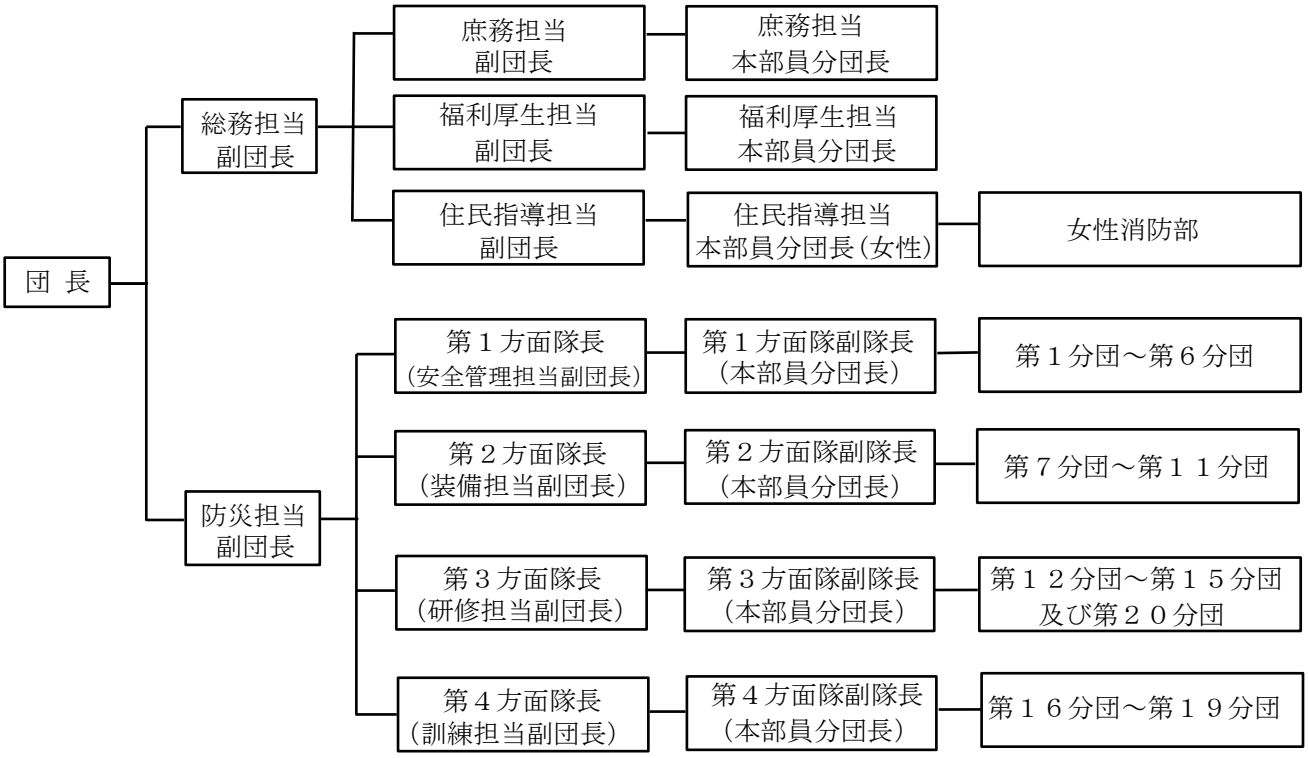
内訳	団長	1
	副団長	9
	分団長	27
	副分団長	20
	部長	21
	班長	61
	団員	444

○機械

ポンプ車	14
小型動力ポンプ付積載車	45
広報車・防災指導車	2

2　消防団組織図

定員 720 人、実員 583 人（令和６年４月１日現在）



4　火災予防　【消防局】

1　火災予防査察

デパート、病院、工場などから火災を出さないために、これらの建物の安全性や、万一火災になった場合の消火、通報、避難誘導体制などについて検査を行っている。

（1）防火対象物の現況

区分	対象物数	区分	対象物数
劇場、映画館等	15	図書館、博物館、美術館の類	8
公会堂、集会場	140	蒸気浴場、熱気浴場等	3
キャバレー、ナイトクラブ類	2	その他の公衆浴場	5
遊技場、ダンスホール	23	停車場、船舶・航空機の発着場	18
カラオケ BOX 等	9	神社、寺院、教会の類	59
飲食店	178	工場、作業場	577
百貨店、マーケット等	360	自動車車庫、駐車場	230
旅館、ホテル、宿泊所	34	倉庫	626
寄宿舎、下宿、共同住宅	8,543	前記各号に該当しない事業所	797
病院、診療所、助産所	111	特定防火対象物が存する複合対象物	1,289
特老、養老、福祉施設等	208	その他の複合対象物	620
老人デイサービス等	253	重要文化財等の建造物	2
幼稚園、特別支援学校	75	50 メートル以上のアーケード	1
小・中・高等学校、大学校の類	398		
合計		14,584	

（2）危険物施設の現況

区分	対象物数
少量危険物貯蔵取扱所	1,202
危険物製造所等	667

2　建築同意

消防法第 7 条の規定に基づき、建築物の建築計画や設計の段階で防火上の安全を定める法律等に適合しているか審査を行い、建築物の火災予防上の安全性の確保を図っている。

3　広報活動

消防行政に対する理解と火災予防・応急救護等への協力を得るために、パンフレットの作成配布、SNS での発信、ホームページの掲載をはじめ、広報紙への記事投稿や報道機関に情報を提供している。また、町会・自治会、事業所などの訓練時等に防火ビデオ等の貸出しを行うなど、幅広い火災予防広報を行っている。

5 救急救助 【消防局】

1 救急活動状況

区分 年次	出動件数（件）	搬送人員（人）			不搬送（件）
		男	女	計	
令和元年中	36,099	15,476	15,130	30,606	5,622
令和２年中	32,788	13,818	13,438	27,256	5,616
令和３年中	33,578	14,263	13,361	27,624	6,079
令和４年中	39,343	16,019	14,781	30,800	8,682
令和５年中	40,860	16,730	16,069	32,799	8,191

2 救急出動件数及び搬送人員

	令和４年中	令和５年中	増減数
出動件数（件）	39,343	40,860	1,517
搬送人員（人）	30,800	32,799	1,999

3 救急隊別出動件数

（単位：件）

		令和４年中	令和５年中	増減数
特別		1,802	1,785	－17
局非常用		814	891	77
中央消防署管内		11,538	12,392	854
	中央第１	2,459	2,517	58
	中央第２	2,485	2,513	28
	夏見第１	2,485	2,509	24
	夏見第２	1,680	2,348	668
	本郷	2,429	2,505	76
	中央非常用	0	0	0

		令和４年中	令和５年中	増減数
東消防署管内		15,411	16,041	630
	東	3,119	3,199	80
	前原	2,813	2,800	－13
	芝山第１	2,392	2,483	91
	芝山第２	2,385	2,426	41
	三山	2,310	2,234	－76
	古和釜	2,151	2,171	20
	東非常用１	241	728	487
	東非常用２	0	0	0
北消防署管内		9,660	9,740	80
	北	2,529	2,368	－161
	行田	2,648	2,663	15
	三咲	2,513	2,505	－8
	小室	1,506	1,431	－75
	北非常用１	6	0	－6
	北非常用２	458	773	315
臨時		118	11	－107
総出動件数		39,343	40,860	1,517

※　夏見第２救急小隊は、令和４年４月１日から運用を開始している。

※　非常用とは、救急輻輳状態が続く場合等のとき、交替制勤務者等で編成し出動した救急隊である。

※　臨時とは、救急出動件数増加に伴う救急輻輳状態が続く場合等のとき、毎日勤務者等で編成し出動した救急隊である。

4　特別救急小隊

当市では、地域に密着した質の高い救急医療を目指し、平成４年に船橋市立医療センターの敷地内に「救急ステーション」を開設し、重度傷病者が発生した場合に救急車に医師が同乗して出動する特別救急小隊（ドクターカー）の運用を開始した。更に、平成５年４月からは、24 時間 365 日体制となり、救命効果の向上を目指した救急医療体制の充実を図った。

また、医師と救急救命士が協同で救命処置を行うことにより救急救命士の知識、技術が向上し、結果的に究極のメディカルコントロールとして機能している。

なお、運用開始から 30 年以上が経過し、地域に密着した救急医療体制として市民にも定着しており、今ではなくてはならないライフラインの一部のように存在している。特別救急小隊（ドクターカー）は船橋市民 64 万８千人の安全を保障するプレホスピタルケアの中枢として位置づけられている。

※メディカルコントロールとは、医学的観点から救急隊員が現場で行う応急処置の質を保証すること。医師による直接の指示、救急隊員の救急活動に関する事後検証及び救急救命士の再教育が含まれる。

5　事故種別救急出動件数

（単位：件・%）

	令和 4 年	構成比	令和 5 年	構成比	増減数
急病	27,055	68.8	27,998	68.5	943
一般負傷	6,069	15.4	6,526	16.0	457
交通事故	1,656	4.2	1,681	4.1	25
その他	4,563	11.6	4,655	11.4	92
合計	39,343	100.0	40,860	100.0	1,517

6　傷病程度別搬送人員

（単位：人・%）

	令和 4 年	構成比	令和 5 年	構成比	増減数
死亡	153	0.5	125	0.4	－28
重症	1,760	5.7	1,822	5.6	62
中等症	13,133	42.6	14,150	43.1	1,017
軽症	15,734	51.1	16,694	50.9	960
その他	20	0.1	8	0.0	－12
合計	30,800	100.0	32,799	100.0	1,999

7　年齢区分別搬送人員

（単位：人・%）

	令和 4 年	構成比	令和 5 年	構成比	増減数
新生児	91	0.3	94	0.3	3
乳幼児	1,894	6.2	2,132	6.5	238
少年	1,120	3.6	1,300	3.9	180
成人	9,834	31.9	10,222	31.2	388
高齢者	17,861	58.0	19,051	58.1	1,190
合計	30,800	100.0	32,799	100.0	1,999

新生児：生後 28 日未満の者

乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者

少　年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者

成　人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者

高齢者：満 65 歳以上の者

8　事故種別救助活動状況

令和５年中　（単位：件・人）

区分	火災		救助								合計
	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	
出動件数（件）	52	2	22	7	3	1	439	0	0	103	629
救助活動件数（件）	52	2	14	5	1	1	382	0	0	51	508
救助人員（人）	10	1	18	4	0	1	327	0	0	24	385

9　総合消防情報システム

今後、発生が危惧される南海トラフ地震、首都直下地震や風水害等の大規模災害の状況を踏まえ、消防活動の中枢となる指令システムの信頼性向上及び消防隊への迅速・的確な災害対応を図ることを目的として、最先端の技術を駆使した総合消防情報システムを整備し、平成30年４月１日から運用を開始した。

予告なしで発生する災害から市民の尊い生命と貴重な財産を守り、安全・安心な暮らしを支える環境づくりを目指して、このシステムは24時間365日休むことなく運用している。

＜システムの特徴＞

（１）迅速・的確な出動態勢の確立

固定電話、携帯電話やIP電話からの119番通報にも対応した統合型位置情報通知装置による位置情報取得や出動車両運用管理装置により、全車両の正確な位置を把握して、災害現場に一番近い消防車両を出動させることができるシステムとした。また、聴覚や発語に障がいのある方からの119番通報にも迅速に対応できるよう「NET 119緊急通報システム」を整備した。

（２）情報連携の強化

防火対象物や危険物施設等の情報をデータベース化して、消防事務や災害現場で活動する消防隊員への支援情報として活用するとともに、Web情報共有システムにより、発生中の災害事案や車両の出動状況を消防局及び全署所で共有できるシステムとした。また、消防と市災害対策本部室との間で、災害対策活動に必要な情報を共有するため、電子黒板を整備した。

（３）安全性・信頼性の強化

重要な装置については冗長化し、地震等の大規模災害時にも停止させることなく、安定した運用を確保するとともに、災害の規模に応じて指令台の受付台数を増加し、多発する災害にも対応できるシステムとした。

○119番受付件数

令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
46,027件	37,650件	37,402件	43,891件	47,013件

6 火災統計 【消防局】

1 消防部隊の出動状況

		火災	救助	警戒・その他	計
令和元年	件数	108	366	1,767	2,241
	台数	574	1,132	3,112	4,818
	人員	2,115	4,043	11,106	17,264
令和２年	件数	116	417	1,618	2,151
	台数	692	1,481	3,677	5,850
	人員	2,987	5,377	13,380	21,744
令和３年	件数	85	414	1,723	2,222
	台数	487	1,430	3,996	5,913
	人員	1,805	5,378	14,456	21,639
令和４年	件数	109	483	1,887	2,479
	台数	623	1,640	4,379	6,642
	人員	2,274	6,026	15,742	24,042
令和５年	件数	128	575	2,107	2,810
	台数	796	1,975	4,701	7,472
	人員	2,914	7,377	17,042	27,333

2　火災の概況

区分	年中	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
火災件数	建物火災	61	83	61	74	86
	林野火災	0	0	0	0	0
	車両火災	8	6	6	10	8
	船舶火災	0	0	0	0	0
	航空機火災	0	0	0	0	0
	その他の火災	39	27	18	25	34
	計（件）	108	116	85	109	128
損害額	建物火災	184,765	818,822	125,189	179,418	222,667
	林野火災	0	0	0	0	0
	車両火災	1,143	1,506	273	3,203	18,749
	船舶火災	0	0	0	0	0
	航空機火災	0	0	0	0	0
	その他の火災	12,307	16,279	1,169	1,879	63
	計（千円）	198,215	836,607	126,631	184,500	241,479
焼損面積	建物（㎡）	2,158	6,921	1,258	1,328	1,768
	林野（α）	0	0	0	0	0
焼損棟数	全焼棟	14	7	11	10	15
	半焼棟	11	5	3	7	4
	部分焼棟（ぼやを含む）	72	95	68	74	103
	計（棟）	97	107	82	91	122
り災世帯・人員	全損	13 世帯 26 人	8 世帯 11 人	10 世帯 18 人	9 世帯 13 人	14 世帯 24 人
	半損	10 世帯 20 人	4 世帯 8 人	6 世帯 11 人	7 世帯 14 人	6 世帯 14 人
	小損	51 世帯 106 人	75 世帯 151 人	65 世帯 159 人	47 世帯 93 人	83 世帯 190 人
	計	74 世帯 152 人	87 世帯 170 人	81 世帯 188 人	63 世帯 120 人	103 世帯 228 人
人的被害	死者	6	2	3	4	3
	負傷者	12	12	15	18	16
	計（人）	18	14	18	22	19

3　原因別火災件数（令和５年中）

区分 原因	件数	割合（%）
こんろ	16	12.5
放火の疑い	16	12.5
たばこ	14	10.9
電気機器	11	8.6
電灯・電話等の配線	9	7.0

区分 原因	件数	割合（%）
配線器具	8	6.3
放火	6	4.7
その他	30	23.4
不明	18	14.1
計	128	100.0